

国語  
(書写)

## (2) 国語（書写）

観 点	着 眼 点
1 学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	(1) 言葉による見方・考え方を働かせながら、問題を見いだして解決策を考える学習など、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫 (2) 姿勢、筆記具の持ち方、点画や一文字の書き方、筆順など、文字を正しく整えて書くことができるようにするための工夫 (3) 情報活用能力の育成に向け、ICTを活用した学習活動の充実を図るための工夫 (4) 学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりするための工夫 (5) 国語科（書写）の特質に応じた体験活動と関連させ、家庭や地域社会と連携した学習を実施するための工夫 (6) 児童の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習を促すための工夫 (7) 書写で学んだ知識・技能が国語科、他の教科等の学習活動及び日常生活でも生きて働くような工夫
2 使用上の便宜	(1) 内容別配当の分量 (2) 教材・資料等の分量 (3) 造本上の特徴、特別な配慮を必要とする児童への配慮、編集上の工夫等
3 その他	・今日的な課題への配慮や工夫

## 書写

### 1 学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫

発行者の 番号・略称	学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	
2 東書	<p>●着眼点(1)について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「書写のかぎ」を軸に、課題を見つけて確認し、生かしてふり返る学習過程となるよう工夫されている。〔例〕2年（P20～21）</li> <li>・各単元の導入で虫眼鏡マーク①「見つけよう」を提示し、単元の学習事項が発見できるよう工夫されている。</li> <li>・第3学年から各単元の導入で「考えたことを友だちと話し合ってみよう」のマークを付し、対話を通して学習事項に迫るよう工夫されている。〔例〕6年（P20）</li> </ul> <p>●着眼点(2)について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書く時の姿勢を「ぺた・ぴん・とん」の言葉で統一し、正しい筆記具の持ち方等が写真で視覚的に示されている。</li> <li>・学習事項の各ポイントを「書写のかぎ」として示し、児童が理解できるよう説明されている。〔例〕4年（P12）</li> <li>・鉛筆（筆）マーク②「確かめよう」のマークを付し、先の活動の学びが定着できるよう工夫されている。</li> </ul> <p>●着眼点(3)について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「コンピューターを学習に生かそう」のコーナーが設けられており、使い方等確かめる二次元コードが配置されている。〔例〕3年（P3）</li> <li>・導入の「見つけよう」に、運筆等を動画で示す二次元コードが配置されている。〔例〕1年（P8）</li> </ul> <p>●着眼点(4)について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第2学年以上で、巻頭に「書写の学び方」コーナーが設けられており、児童に学習の流れを示して見通しを持たせるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各単元の終末（ページ左下）に「ふり返ろう」を設け、児童が学びをふり返られるよう工夫されている。</li> <li>・教科書の終盤に、既習した「書写のかぎ」が一覧でまとめられ、学習事項をふり返られるよう工夫されている。</li> </ul> <p>●着眼点(5)について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学びを生かそう」のコーナーで、これまで学んだことを生かして、家庭や地域と連携した学習活動が展開できるよう工夫されている。（1年原稿用紙、2年手紙、3年はがき、4年手紙、5年カード・寄せ書き、6年色紙）</li> </ul> <p>●着眼点(6)について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「文字といっしょに」のコーナーでは、漢字の成り立ちや書き初めが取り上げられており、児童が文字の持つ力を感じたり、筆記具への興味・関心を高めたりするよう工夫されている。</li> <li>・第1・2学年では、イラストや迷路を各所に取り入れており、学習意欲を高めるよう工夫されている。</li> </ul> <p>●着眼点(7)について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年で、国語科を中心に他教科等につながる学習事項を設定し、リンクマークで示されている。〔例〕3年（P26～27）</li> <li>・「生活に広げよう」のコーナーでは、学習事項と他教科・学校生活との関連をはかり、書写の学びが生活に生かせるよう工夫されている。〔例〕2年（P15）</li> <li>・第6学年では、小学校の書写の学びを総括し、中学校でも広げられるように「六年生のまとめ」「書写展覧会を開こう」が設けられている。</li> </ul>

発行者の 番号・略称	学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	
17 教出	<p>●着眼点(1)について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各単元のはじめに「めあて(第1・2学年はりんごマーク付)」が示されており、学習の見通しが持てるよう工夫されている。〔例〕6年(P10)</li> <li>・既習事項を踏まえて、当該学年の学習を積み重ねられるような題材が配置されている。〔例〕5年(P18)</li> <li>・「知識・理解」「思考・判断」「活用」「対話的な学び」を支える学習材が配置されており、「主体的・対話的で深い学び」につながる学習活動が展開できるよう工夫されている。〔例〕3年(P30～31)</li> </ul> <p>●着眼点(2)について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書く時の姿勢を「こしぴん」「足ぺた」「ぐう一つ」の言葉で統一しており、鉛筆や筆の持ち方、用紙の置き方等が写真や言葉で示されている。</li> <li>・卵マーク「考えよう」として、めあてに沿った文字の書き方を考える活動が設定されている。</li> <li>・ひよこマーク「ここが大切」として、文字を書く時に気をつける点が明記されている。〔例〕5年(P17)</li> </ul> <p>●着眼点(3)について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「まなびリンク(二次元コード)」から、全ての毛筆教材の運筆動画が見られ、運筆のしかたを理解できるよう工夫されている。</li> <li>・「まなびリンク(二次元コード)」から、第1・2学年では姿勢、第3学年以上では筆を左手で持つ人の毛筆用具の置き方を理解できるよう工夫されている。〔例〕1年(P5)</li> </ul> <p>●着眼点(4)について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年の学習内容の見通しが持てるように、目次に学習内容の概要が一覧で示されている。</li> <li>・各単元の終末(ページ左下)にめあ</li> </ul>	<p>てに対応させた「ふり返ろう(第1・2学年はりんごマーク付)」を設け、学習の到達度を自ら評価できるよう工夫されている。〔例〕2年(P13)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が自らの成長に気づけるように、授業のはじめに「ためし書き」、授業の終わりに「まとめ書き」が設定されており、文字を比べられるよう工夫されている。</li> </ul> <p>●着眼点(5)について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「書いて伝え合おう」、「レッツ・トライ」、「知っておこう」のコーナーが配置されており、書写で身につけた力を様々な場面で発揮できる学習活動が系統的に構成されている。(1年ありがとうカード、2年年賀状、3年お店見学の礼状、4年発表会の案内状、5年寒中見舞い、6年卒業文集執筆の依頼状)</li> </ul> <p>●着眼点(6)について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第2学年以上で「学習の進め方」が設定されており、児童の書字例や活動写真を示しながら、課題解決に向けた具体的な方法を理解できるよう工夫されている。</li> <li>・児童の発達段階や言語環境を考慮した「手本」が選定されており、低学年では、さし絵によってイメージが膨らみやすいよう工夫されている。〔例〕2年(P12)</li> </ul> <p>●着眼点(7)について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他の学習や生活に生かせる学習内容を、目次に一覧で示されている。</li> <li>・「書いて伝え合おう」のコーナーでは、生活や他教科の学習活動に生かせる活動が設定されている。〔例〕4年(P47～49)</li> <li>・第6学年で、発展教材として「行書」がコラムとして扱われている。〔例〕6年(P44)</li> </ul>

発行者の 番号・略称	学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	
38 光村	<p>●着眼点(1)について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1～3学年では体感を通して理解を深め、第4～6学年では観察や比較を通して主体的に文字の整え方を発見できる単元が設定されている。</li> <li>・各単元のはじめに「めあて(第3学年以上では「ねらい」)」が示され、学習の見通しを持たせるよう工夫されている。</li> <li>・単元の導入で「考えよう」の場面を設定し、提示した文字をもとに対話を通して学習目標に迫るよう工夫されている。〔例〕5年(P16)</li> </ul> <p>●着眼点(2)について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書く時の姿勢を「ぺったん」「ぴん」「ぐう」の言葉で統一しており、筆記具の持ち方、用紙の置き方等が写真や言葉で示されている。〔例〕1年(P7)</li> <li>・学習内容を教材名として表記し、児童が「何を学ぶか」「何ができるようになったか」が分かりやすいよう工夫されている。〔例〕2年(P8)</li> <li>・第2学年以上では、学習のポイントがマーク「たいせつ」を付して、示されている。〔例〕3年(P29)</li> </ul> <p>●着眼点(3)について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二次元コードを通して、写真、動画等を参照しながら、筆の持ち方や運筆等が確認できるよう工夫されている。</li> <li>・二次元コードを通して、字を書く時の姿勢が確認できるよう工夫されている。</li> </ul> <p>●着眼点(4)について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全教材に自己評価欄が設けられている。〔例〕6年(P6)</li> <li>・全学年で教科書終末に「まとめ」の単元を設定し、全単元の「たいせつ」を整理したり、学んだことを生かして書字したりすることができるよう工夫されている。〔例〕4年(P36～37)</li> </ul>	<p>●着眼点(5)について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい生活様式、SDGS、防災等に関わるコンテンツがあり、家庭との連携した活動が設定されている。〔例〕4年(P21)「SDGSブック」</li> <li>・「書写広げたい」のコーナーでは、国語科の教科書と関連させた教材が設定されており、一体的に学ぶことができるよう工夫されている。(1年縦書き、2年原稿用紙、3年手紙、4年リーフレット、5年インタビューメモ、6年パンフレット)</li> </ul> <p>●着眼点(6)について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・柔道家の阿部詩さんや水泳選手の池江璃花子さん等、スポーツ選手等を取り上げ、児童が関心をもち学べるよう工夫されている。〔例〕5年(P35)、6年(P44～45)</li> <li>・動物キャラクターのさし絵を用いて、キャラクターの動きや擬態語・擬音語を活用して、直感的に筆使いを理解できるよう工夫されている。〔例〕1年(P16～17)</li> </ul> <p>●着眼点(7)について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書写での学習を他教科等に関連づけた教材が、各学年に設けられている。〔例〕2年(P20)</li> <li>・各学年に設定されている「ことば」には、日常の言葉や物語、短歌・俳句で構成されており、書いて理解できるよう工夫されている。〔例〕1年(P20～21)</li> <li>・第6学年で、書写に関する既習の要素をまとめた「書写ブック」が掲載されている。〔例〕6年(P21～28)</li> <li>・第6学年で、巻末に発展教材として「行書」を扱い、中学校への接続が意識されている。〔例〕6年(P57)</li> </ul>

2 使用上の便宜 ・斜線部は、当該学年の内容・資料等として示されていないところ。

項目		発行者の 番号・略称	総 ペー ジ	(1) 内容別配当の分量					(2) 教材・資料等の分量					
				硬 筆 教 材	毛 筆 教 材 (大 筆)	毛 筆 教 材 (小 筆)	資 料	他 教 科 等 の 関 連 教 材	そ の 他	毛 筆 教 材 の 文 字 総 数	原 寸 大 手 本 数	横 書 き 教 材 数	筆 記 用 具 使 用 の 写 真 等 数	発 展 教 材 の 有 無
2 東書	学 年 別 各 分 量	1年	49	33			4	4	7			2	13	○
		2年	45	29			6	5	8			1	15	○
		3年	57	11	24	1	11	7	8	19	2	2	41	
		4年	53	12	22	1	9	6	8	25	2	0	28	
		5年	53	6	18	2	9	7	8	37	2	3	38	
		6年	53	3	14	3	9	12	8	58	2	3	22	○
17 教出	学 年 別 各 分 量	1年	49	33			4	5	11			4	13	○
		2年	41	25			4	5	12			5	23	○
		3年	61	14	27	1	5	9	13	14	1	3	48	
		4年	61	14	24	0	5	14	15	21	1	3	27	
		5年	53	11	23	0	5	13	9	23	1	4	22	
		6年	53	10	21	4	5	13	9	42	1	3	23	○
38 光村	学 年 別 各 分 量	1年	49	32			6	3	11			1	28	○
		2年	41	28			5	6	8			1	15	○
		3年	65	9	29	2	7	6	12	20	2	1	33	
		4年	53	6	25	0	7	8	6	21	2	2	18	
		5年	49	7	21	0	7	9	6	25	2	3	18	
		6年	57	7	17	2	6	13	6	39	2	5	21	○

(3) 造本上の特徴、特別な配慮を必要とする児童への配慮、編集上の工夫等

2 東書	<ul style="list-style-type: none"> <li>表紙は、見開きの状態を維持しやすい紙に耐久性を高めるよう加工されている。</li> <li>鉛筆で書き込みがしやすく、強度を持ちながら軽量の用紙が使用されている。</li> <li>環境への配慮から、再生紙・植物油インクが使用されている。</li> <li>全ての児童の色覚特性に適應するようデザインされている。</li> <li>ユニバーサルデザインフォントが使用されている。</li> </ul>
17 教出	<ul style="list-style-type: none"> <li>紙面はB5判で、表紙には、抗菌加工と撥水コーティングが施され、墨やよごれに強い造本となるよう工夫されている。</li> <li>文章表現は平易で簡潔であるとともに、基本点画の名称と書き方について確認できるページが、全学年に設けられている。</li> <li>環境に配慮した再生紙と植物油インクが使用されている。</li> <li>色覚の個人差を問わず、より多くの人が見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮されている。</li> <li>ユニバーサルデザインフォントが使用されている。</li> </ul>
38 光村	<ul style="list-style-type: none"> <li>針金を3か所に施した中綴製本で、長期の使用に耐えられるよう配慮されている。</li> <li>強度が高く、鉛筆で書きやすい用紙が採用されている。</li> <li>環境に配慮した紙・植物油インクが使用されている。</li> <li>全てのページについて、カラーユニバーサルデザイン、学習のユニバーサルデザイン、外国人児童生徒等教育、特別支援教育、人権教育、防災教育の観点から、専門家による校閲が行われている。</li> <li>タイトルや「たいせつ」には、ユニバーサルデザインフォントが使用されている。</li> </ul>

3 その他

	<ul style="list-style-type: none"> <li>今日的な課題への配慮や工夫</li> </ul>
2 東書	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な感染症予防についてまとめたサイトを閲覧することができるよう、教科書冒頭(巻末)に、感染症の予防について注意喚起を行う「うつらない うつさない ために」にアクセスできる二次元コードが配置されている。</li> </ul>
17 教出	<ul style="list-style-type: none"> <li>ESD、SDGsに取り組める教材の工夫や、感染症対策、安心・安全について配慮されている。</li> </ul>
38 光村	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書に登場する児童の写真・イラストについては、感染症の流行に応じた配慮を促すなど、「新しい生活様式」を考慮した内容が設られている。</li> </ul>